

教育目的	多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。			
到達目標	1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。 2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提供することができる。 3. 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。			
教科目	規定時間	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅲ	30時間	社会保障制度・政策の動向	・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉WHO活動、国連SDG s 等	30
		看護制度・政策の動向	・看護制度の変遷と政策 ・看護政策に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響力	
		ヘルスケアサービスの創造	・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） ・NGO NPOのヘルスケアサービス ・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのマーケティング構築 ・看護事業の開発と起業 ・テクノロジーの活用	
組織管理論Ⅲ	30時間	組織デザインと組織運営	・組織のデザイン ・組織間のネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン ・ダイバーシティ ・組織運営に必要な能力 ・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練	30
		看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	
人材管理Ⅲ	15時間	社会システムと労務管理	・賃金制度 ・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・人材フローのマネジメント ・ハラスメントの組織的対応	15
		看護管理者の育成	・看護管理者の能力開発、活用	
資源管理Ⅲ	30時間	経営戦略	・医療経営の特徴と課題 ・戦略策定 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題	30
		財務管理	・財務関係 ・管理会計 ・資金管理	
		組織的情報管理	・関連法規の遵守 ・地域における情報共有・活用	
質管理Ⅲ	30時間	経営と質管理	・ガバナンスとアカウンタビリティ ・医療・看護の質とデータ活用 ・第三者評価（病院経営と第三者評価【病院機能評価、ISO等】）、安全管理の第三者評価	30
		組織の安全管理	・安全文化の醸成（組織の危機管理；訴訟） ・医療事故防止のための組織的対策（リスク管理体制の整備） ・危機管理（災害のリスク管理体制調整）	
統合演習Ⅲ	45時間	演習	・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画実施する	45
		実習	・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画実施する シャドウイング等	
その他		開講式、オリエンテーション、ヒューマンネットワーク、閉講式等		9

ヘルスケアシステム論Ⅱ	30 時間
組織管理論Ⅱ	30 時間
人材管理Ⅱ	15 時間
資源管理Ⅱ	30 時間
質管理Ⅱ	30 時間
統合演習Ⅱ（演習・実習）	45 時間
時間数	180 時間（基準時間数：198時間以内）
その他 開講式・閉講式・オリエンテーションヒューマンネットワーク他	9時間（修了要件に含まれない）
総時間	189 時間 32日間

○演習について

- ・演習形態で行う授業時間数は、「統合演習Ⅱ」の45時間を含め、総時間数の1/3に相当する60時間を上限の目安とする。